

監査報告書

令和 6 年 3 月 26 日

施設部長 様

監査チーム

監査長 氏名 齊藤勝巳  印主任監査員 氏名 溝口敦雄 

浮島処理センターの監査について次のとおり報告いたします。

記

1 実施結果

監査実施日：令和5年12月13日、15日、18日

今回の監査は、浮島処理センターのEMSが適切に構築及び運用されているかを確認するための定期監査である。

従って、監査対象は、EMS責任者、事務局、内部監査チーム、技術係、夜間運転監視等業務受託者3班について実施し、監査の結果、適合と判断した。

また、監査による指摘事項の件数は以下のとおり。

ストロングポイント	0件
改善の機会	1件
改善指摘事項 カテゴリーB	2件
改善指摘事項 カテゴリーA	0件

なお、指摘事項の詳細は別添の「監査実施結果通知書（監査 FM008）」を参照

2 監査所見（改善提案等を含む）

(1) 運用面について

近年多発しているごみピット火災に対し、火災の原因となりうる粗大ごみ処理施設から入る破碎ごみへの散水タイマ調整や、混入している二次電池の選別の実施など、積極的に緊急事態発生の予防に取り組んでいた。

また、燃えにくいごみが焼却炉に入った場合でも安定した燃焼を継続できるよう係長会議（EMS委員会）を通じてコミュニケーションを図るほか、焼却炉の操作

※ 主任監査員は、監査結果及び監査チームで是正対応の検証結果等を反映した報告書を作成し、監査長へ報告する。

監査長 → 施設部長 → 評価委員会

(5年保存)

訓練を行うなど、有害な環境影響の発生抑制及び焼却炉の安定稼働に向けた取組みを積極的に行っていた。

(2) 改善提案について

現在、目的目標として取り組んでいる建築系動力の電力使用量削減について、基幹整備実施前の設備における電力使用量を比較の基準としていたため、実際の削減率が目標とする削減率を大幅に上回っていた。

今年度中に基幹的整備工事が完了となる中で、現状においては目標とする削減率を定めることは困難であると考えられるが、脱炭素につながる重要な取組みであるため、次年度の取扱いについては慎重に検討するとともに、川崎市地球温暖化対策推進基本計画に基づく脱炭素化の取組として、現在温室効果ガスが発生しない再生可能エネルギー利用の拡大を図っている。この再生可能エネルギー起源の電力供給源として浮島処理センターをはじめとする3処理センターの廃棄物発電による電力が欠かせないものとなっていることから、今後も焼却炉の安定稼働に向けた操作訓練や緊急事態発生による計画外停止の防止など、電力の安定供給に繋がる取組みについて継続して取り組んでいくことが望まれる。

監査指摘にも挙げた通り、センターに適用される法令調査結果の一部について、記録がなくなっている項目の順守評価が記録されていた。廃棄物処理施設として、適用法令とその順守の確認は重要であることから双方の関係性を理解したうえで適切に順守評価を行うという、一連の仕組みに関する理解度を向上させる取組が望まれる。

また、文書の廃棄について、実際に行われている管理方法とセンターで定めた手順書による管理方法とに一部齟齬があったため要領書に従うことを基本とし、手順書に不都合があった場合には適宜レビューを行う等、文書管理を適切に行っていくことが望まれる。

3 是正処置

(1) 是正処置記録提出日： 令和6年1月12日

EMS監査の指摘に対応した改善の機会対応記録及び是正処置記録全てが提出された。

(2) 是正対応確認日： 令和6年2月8日

改善の機会対応記録及び是正処置記録についての確認を監

※ 主任監査員は、監査結果及び監査チームで是正対応の検証結果等を反映した報告書を作成し、監査長へ報告する。

監査長 → 施設部長 → 評価委員会

(5年保存)

査チームにて実施し、指摘に基づく対応が全て完了していることを確認した。

(3) そ の 他： なし

以上